

2 共通教育・連携教育

1) 教育活動

◎印：科目責任者（オムニバス形式などの場合）

★印：非常勤講師

授業科目・担当教員	授業形態・時数	科目のねらい・到達目標
スタートアップ演習 ◎原 俊彦 松井 美穂 町田 佳世子 酒井 正幸 矢部 和夫 張 浦華 エル サニ マロアン フィッシャー ニーナ 斉藤 雅也 三谷 篤史 福田 大年 加藤 登紀子 内田 雅子 定廣 和香子 山本 勝則 村松 真澄 神島 滋子 照井 レナ 松村 寛子 多賀 昌江 太田 晴美	演習 60時間	<p>【科目のねらい】「デザインと看護の連携」をテーマに、大講義室での合同講義や小人数編成によるグループ活動を通じ、文献講読、図書館の活用、レポート・論文作成、グループ討論など、主体的に勉学・研究を進めるための基礎的学習法、課題解決の手法などを習得するとともに、調査・分析プロジェクトを通じ、4年間の学生生活や将来の職業生活への展望を持ってもらうためのコア科目。</p> <p>【到達目標】</p> <p>主体的に勉学・研究に取り組む姿勢／他者とのコミュニケーション能力／基本的な学習技術の習得／学生生活や将来への展望を持たせる。</p>
哲学と倫理 ★山田 友幸	講義 30時間	<p>【科目のねらい】心と身体はどのような関係にあるのかという問題をめぐって、近世から現代に至るさまざまな哲学者の考えを再構成的にたどり、世界の中における心の位置について理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①心について考えるための基本概念を理解する。 ②理解した基本概念を使って個々の問題点について考える。 ③世界の中における心の在り方について、自分の考えを筋道立てて論じる。
体のしくみ 小宮 加容子	講義 30時間	<p>【科目のねらい】体のしくみについて運動・動作を中心に学習し、ヒトの正常状態について学ぶ。具体的には、正常な身体運動を運動学的分析の視点から考察する。また、講義・実習などを通じて筋や関節が運動・動作にどのようにかかわっているかについて、生体の構造と機能との関連から理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①人間の情報処理、身体情報について理解する。 ②動作分析方法について理解する。 ③障害の箇所の違いによる動作への影響について理解する。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	科目のねらい・到達目標
人間関係を考える ★椿 武愛子	講義 30時間	<p>【科目のねらい】挨拶から始まる対人関係と常識的なコミュニケーションが望まれているにもかかわらず、なかなかうまく表現できない人が多いといわれている。同じ職場に長く勤務できないのは、仕事がいやだからではなく、人間関係のトラブルからが多い。我々の日常生活は、家庭、学校、職場などを中心として営まれている。そのいずれにも、必ず他者とかかわらなければならない。そのためにまず、相手を知り、相手を認めることがいかに大切かを知り、コミュニケーションを上手にとるため、そして楽しい生き方をするための人間関係をつくることを目的とする。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①お客様、上司に対する礼儀作法の基本ができる。 ②言葉づかい・電話応対に対する即戦力が身につく。 ③対人関係が良くなる。
札幌を学ぶ 原 俊彦	講義 30時間	<p>【科目のねらい】さまざまな分野で活躍している方をゲストスピーカーとして招き、札幌の地域特性や、道都としての札幌と北海道各地の関係について、話を聞きともに考える。科目担当の専任教員は、ゲストスピーカーの紹介、学生への情報提供と評価を担当する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>地域社会に対する興味・関心／人の話を注意深く聞き理解する能力／適切なコメント・質問をする能力などを身につける。</p>
英語 I A ★大野 拓恵 ★水島 梨紗 ★清水 香	演習 30時間	<p>【科目のねらい】高校までに習得した英語の基礎的な読解力をさらに発展させることを目標とする。ここでは、さまざまなトピックに関する比較的平易な英文を読みながら、英文読解力、語彙力の向上を目指す。進度によっては、英文の新聞・雑誌記事などを副教材とし英語力の更なるレベルアップを図る。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①比較的平易なレベルの英文を、的確に文の内容、論理展開を把握しながら、一定のスピードで読める力を習得する。 ②英語の文章を読むためのさまざまなスキルを習得する。
英語 I B 町田 佳世子 松井 美穂 ★白土 淳子 ★向井 千和子	演習 30時間	<p>【科目のねらい】高校までに習得した文法を再確認するとともに、英文の構造を理解しながら、英語でコミュニケーションをするために必要な作文力を身に付ける。また、ある程度まとまった内容を英語で表現するために必要なパラグラフ・ライティングの書き方を、ブレインストーミングなどの基礎から学び、論理的かつ明瞭な英文を書くために必要な英文の構成の仕方を学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①センテンス・レベルからの作文の練習から始め、パラグラフ程度の長さのまとまりのある内容を英語で表現できるレベルの力を習得する。 ②高校までに学習した英文法の知識をより深め、英作文に活用できる力を習得する。
英語 I C ★マッドヴァ セザインジ ★山田 パトリシア	演習 30時間	<p>【科目のねらい】英語による口頭でのコミュニケーション能力の基礎習得を目標とする。伝えたいことを正確に英語で表現する力を身に付けるとともに、英語で自分の意見を発信する能力を養う。CDなどの教材を使用し、リスニング力の向上に努めながら、日常の英会話に必要な表現力についても学ぶ一方、英語でのプレゼンテーション能力を身につけることを主たる目的とする。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ある程度まとまった内容を口頭で表現できる。 ②英語でのプレゼンテーション能力の基礎力を身につける。
日本語表現法 ★千葉 孝一	演習 30時間	<p>【科目のねらい】言葉に関する学術用語を学び、多角的に考えるための基礎知識を培う。その上で、適切な日本語表現とは何かについて正しく理解するとともに、自分の考えを相手に明快かつ分かりやすく伝える文章表現力を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①言葉をめぐるさまざまな学術用語(シニフィエ・コノテーション等)を適切に使用できる。 ②さまざまな文章の性質を理解し、それぞれの約束事に沿った文章を執筆できる。

授業科目・担当教員	授業形態・時数	科目のねらい・到達目標
基礎カウンセリング ★小坂 守孝	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 カウンセリングは、適応上の課題を有する個人が、専門家の援助を受け課題解決を図る過程です。ここではロールプレイなどを通じ、カウンセリングの基礎を学びます。併せて、カウンセリングが必要となる心理的な状況や症状、また、カウンセラーの役割について理解を深めることを目的としています。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①カウンセリングとは何をする事なのかを理解すること。 ②カウンセリングの実際について体験を通して知ること。 ③様々な領域におけるカウンセリングの方法を知ること。
情報リテラシー I ◎大 淵 一博 柿山 浩一郎	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 これから大学で勉強をしてゆく上でも、また社会に出て働く上でもパーソナルコンピュータを日常のコミュニケーション・ツールとして自由自在に使いこなすことが求められます。このため情報リテラシー I ではコンピュータのしくみや操作方法、データの保存方法などについて学ぶとともに日常業務に不可欠なワープロ・表計算・プレゼンテーションなどのアプリケーション操作の基礎や、自在に使いこなすための工夫・テクニックについて学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コンピュータの基本操作の習得。 ②ワープロ・表計算・プレゼンテーションなど基本的なソフトウェアの操作を理解し、ツールとして自由に活用できること。
情報リテラシー II ◎大 淵 一博 柿山 浩一郎	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 これから大学で勉強をしてゆく上でも、また社会に出て働く上でもパーソナルコンピュータを日常のコミュニケーション・ツールとして自由自在に使いこなすことが求められます。このため情報リテラシー II では、インターネットを通じ、さまざまなデータベースから情報を的確に収集・検索する方法を学ぶとともに、情報の加工やホームページの作成などを通じ、自ら情報発信する技術を身に付けます。またセキュリティの問題や個人情報の扱い方などについても学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①情報倫理を遵守しながら、インターネットを情報収集、情報発信のツールとして活用すること。 ②インターネットに関連する技術について理解すること。
宗教と思想 ★堀 雅彦	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 宗教と思想はそれぞれ、「信じること」と「考えること」として、互いに異質な営みであるように見えます。実際、「宗教を信じるのは自分の頭で考えることの放棄だ!」と言う人もいます。しかし、そういう声に賛成の手を挙げる前に、さまざまな宗教的伝統のただ中で生まれ、継承されてきたものの見方に、目を向けてみませんか。そこには人間や社会、自然などをめぐる広い意味での「思想」があり、私たち自身のものの見方に反省を迫るような要素が少なからずあるはずです。この講義では、そのような「宗教の中の思想」の輪郭を捉えるためのヒントを、さまざまな角度から示したいと思います。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①諸々の「宗教」に対して自分が持っているイメージ、考え方を広い視野から再検討する態度の形成。 ②ユダヤ教、キリスト教、仏教の成り立ちと、基本思想についての最小限の知識の取得。 ③授業内容を踏まえて自分自身の問題をたて、それに対する自分の考えを説得的に論じること。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	科目のねらい・到達目標
芸術と文化 ★望月 由美子	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 古代オリエント社会及びヨーロッパの絵画、彫刻、建築作品の写真を多数見ながら、各作品の意味とその背景に流れる思想についてわかりやすく説明します。単に美術作品を観るというだけではなく、死生観やジェンダー、心性史（メンタリティーの歴史）などの視点から、一枚の絵や建築の中に込められている内容を具体的に理解し、イメージというものがいかに人間の心に働きかけるものであるのかについて实际的に考えていきます。美術史の入門編となる本講義では、色やモチーフの担う象徴的な意味についても解説し、絵画の見方のポイントについても学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①美術作品についての基礎的知識（時代様式、図像学）を養う。専門用語の学習を含む。 ②イメージ・リテラシーの習得（自分の力で分析的・批判的にイメージを読解する力の養成） ③美術作品に凝縮されたその時代、社会を生きた人間の状況やメンタリティーなどを想像・理解しながら、現在、われわれ人間社会がかかえる問題をあらためて考え、それへの対応・解決を見出す力を養成する。</p>
心のしくみ ★藤本 愉	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 日常生活行動に見られる人間の行動を理解するに当たって、それらの行動をコントロールしているさまざまなシステムや現象について、心理学的に理解する。また、人間の心を科学的に研究した知見と現代心理学の各分野を概観し、人間の心と行動についての基礎を学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①さまざまな領域の心理学的研究について概観し、心理学全般についての知識を得る。 ②授業で紹介した心理学的知見に関し、自分なりの考えを論ずることができる。</p>
現代社会と家族 原 俊彦	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 日常当たり前の存在のように考えられがちな家族は、その時代により、社会により、また個人によって、その意味や位置付けが異なる。現代においては、社会構造の複雑化、グローバル化などが進んでおり、家族のありようや個人と家族のかかわりも大きく変化している。ここでは、現代の社会的な問題と、家族・地域社会の関係について学び、日本の家族が抱える課題について考察する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①家族に対する関心を養う。 ②家族の変化を統計的に捉える方法を学ぶ。 ③家族と地域社会の関係や日本の家族が抱える課題を理解する。</p>
現代社会と経済 ★近藤 公彦	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 現代社会のさまざまな経済活動を理解するために、経済学や経営学の基本的な知識を習得する。また、身近な経済トピックスなどを通じて、経済のグローバル化、情報化の現状を概観する。我々は普段、消費者としてモノやサービスを買ひ、利用している。コンビニでお弁当を買ひ、ファッション専門店で購入し、シネマコンプレックスで映画を鑑賞し、携帯電話を使っている。一方、売り手である企業は、そうした製品やサービスを消費者に提供することで利益を上げる。その過程で企業は、消費者の好みを探り、彼らを満足させられる製品・サービスの開発に努め、ライバル製品との競争にどのように勝つかを常に考えている。この講義では、社会の経済主体の中心である企業のマーケティング活動に焦点を当て、その理解を通じて現代の社会や経済を見る眼を養う。具体的には、企業戦略の基本的な考え方をマーケティングの視点から提供し、具体的な事例を多く交えながら説明するとともに、適宜、テーマに則したビデオを見たり、雑誌記事を読み、ディスカッションやレポートを通じてマーケティングの理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①マーケティングを通して企業活動を理解し、社会、経済を見る知識を習得する。 ②マーケティング戦略の分析能力と戦略プランニング能力を養う。 ③ディスカッションやプレゼンテーションの能力を養う。</p>

I
概要II
教育活動III
研究活動IV
社会活動V
キャリア支援活動VI
入学選抜結果VII
附属図書館VIII
役員会・経営審議会
及び教育研究審議会IX
学内運営の概要X
資料

授業科目・担当教員	授業形態・時数	科目のねらい・到達目標
統計の世界 原 俊彦	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 さまざまなデータの分析を行うための基礎となる統計学的な考え方や基本的な手法を理解・習得することを目標とする。このため、表計算ソフトを用いてデータを加工し、必要な情報を採り出すための簡単な統計処理方法を学ぶ。また、データに基づいて物事を考える力を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①統計学的な考え方や基本的な手法に対する理解。 ②表計算ソフトを用いたデータの加工能力。 ③統計を用いた推計・検定の処理の基礎を身につける。
英語ⅡA 町田 佳世子 ★大野 拓恵 ★清水 香 ★水島 梨紗	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 「英語IA」で培った読解力をさらにレベルアップし、アカデミック・スタディに必要な英文読解力の充実を目指す。さまざまな英文について、正確かつ確に内容を理解する訓練を行うとともに、平易な長文の大意を短時間で把握する速読、パラグラフ・リーディングの練習も行う。また、併せて辞書を使用せずに一定レベルの英文を読み取れる語彙力を養成する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①複雑な構文、難易度の高い語彙を含む英文を、的確に理解できる読解力を習得する。 ②速読、パラグラフ・リーディングなど多様な読みのスキルを適用して読解ができるようになる。
英語ⅡB 松井 美穂 ★白土 淳子 ★向井 千和子	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 「英語IB」で培った作文力をもとに、英語で自分の考えや意見を論理的に表現できる力や研究レポートなどを英語で表現できる力を身に付ける。英文の文章構成力を習得し、最終的にはエッセイレベルの長さの、論理的な文章を書ける力を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①センテンスレベルで、英語の分の構造を正しく理解する。 ②英作文における文章構成力を習得する。 ③パラグラフを書く力をさらに発展させ、最終的にはエッセイレベルの長さの、論理的な文章を書ける力を身につける。
英語ⅡC ★マツダヴァ セヴァンジ ★山田 パトリシア	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 「英語IC」で培ったスピーキング力、プレゼンテーション能力をさらに向上させ、一定レベルの内容を英語で発信する力を養う。同時に、ある程度複雑な内容のネイティブの会話や説明などを正確に理解できるように、CDなどの教材を活用し、さらなるリスニング力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①英語で自らの考えや意見を論理的に発信できる力を身につける。 ②論理的な内容の英語を聞いて理解できる力を身につける。
プレゼンテーション ◎武田 亘明 柿山 浩一郎	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 今日社会では、文書・画像・音声などさまざまな表現手段を組み合わせ、情報を効果的に伝達することが重要になっている。ここでは、情報を伝達する相手や目的に合った情報の収集や編集方法を学ぶとともに、プレゼンテーション用のソフトを活用し、多様な表現手段と説得力あるプレゼンテーション技術を習得する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①目的や相手に合わせた最も効果的な表現手法及び読み解く方法について理解する。 ②プレゼンテーションソフトウェアを使いこなせるようになる。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	科目のねらい・到達目標
対人コミュニケーション 町田 佳世子	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 私たちはコミュニケーションなしに社会生活を送ることはできない。コミュニケーションの仕組みを知ることは、よりよいコミュニケーションの担い手への第一歩である。この授業では、心理学、社会学、言語学、社会心理学などの研究成果を基に、コミュニケーションという現象にアプローチする。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① コミュニケーションという営みについて基本的な理論を学ぶ。 ② 身近なコミュニケーション行動をその知識を基に観察または内省する。 ③ ①と②を自らのコミュニケーションに適用し、より豊かなコミュニケーションの担い手となる。
手話 ★高橋 浄	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 このクラスでは、実技指導などを通し、日本人ろう者のコミュニケーション手段の1つである「日本手話」の基礎を学びます。また、ろう者及びろうをめぐむ問題についても考えてみたいと思います。</p> <p>【到達目標】</p> <p>ろう者に対する理解を深めるとともに、手話による簡単な会話を習得する。日常会話を行う。必要な手話表現技術を習得する。</p>
ジェンダーを考える ★川畑 智子	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 人権問題やジェンダーの基本的な考え方について、基礎的な知識を習得する。また、ジェンダーを生み出す社会的な構造や、最近のジェンダーの課題について、事例を通して考察する。現代の日本社会の問題から具体的なテーマをとりあげ、現代日本社会における男女の性別秩序をとらえる。こうしたテーマについて深く考えてみたい人、こうしたテーマに関心のある人などの受講をお勧めします。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 各自のテーマについてジェンダーという分析概念*を用いて論述し、具体的な提案をする。 ② 講義に積極的に参加し、社会について関心を持ち、深く考え、自己表現する。 ③ 積極的に情報収集し、得られた情報に基づいて論理的に自己の意見を述べる。 <p>*概念とは、あるまとまった考え、ないしは、考えのセット。分析概念とは、ある社会現象を分析し、説明可能(=理解可能)にするために使用する概念のこと。</p>
現代社会と国際関係 ★先川 信一郎	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 国際関係を正確に理解することは、今の日本や自分たちが住む社会をより深く理解することにつながります。例えば米国の外交や金融政策、民主主義や自由、平等の理念は、自分たちの生活にも大きくかかわっています。日々変化する国際ニュースを読み解くことができれば、今の政治や社会の何が正しく、何が間違っているか、そして、これから何が起きるか—を自分なりに判断できるようになるでしょう。</p> <p>講義では、国際ニュースの報道ぶりや記事の内容をわかりやすく分析し、その意味するところや、背景に何があるかを探っていきたいと考えています。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 主要な国際ニュースの意味が理解できる。 ② ニュースの重要性をある程度判断できる。 ③ 英語の新聞やネット情報が、ある程度読める。
健康とスポーツ ★布上 恭子	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 多くの日本人の生活は、栄養過多の一方、運動が不足しており、ストレスの解消や発散も十分になされない状態にある。また、こうしたことが、体力の低下やさまざまな健康障害を引き起こす原因となっており、スポーツの必要性がますます増加している。ここではスポーツによる健康維持と体力づくりのための知識の習得を目的とする。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本人の健康管理を知り、自分の健康管理に日々努力できるようにする。 ② 知識ばかりではなく、自分のからだと対話できるような運動処方と自己整体法を身につける。

授業科目・担当教員	授業形態・時数	科目のねらい・到達目標
ボランティア活動を考える ★小沼 春日	講義 30時間	<p>【科目のねらい】 ボランティア活動の起源、活動を支える思想、活動の今日的状況と課題について学ぶ。また、現代社会では「地域におけるボランティア活動」が非常に注目されていることから、地域のボランティア活動の事例も参考にしながら、身近なボランティア活動についても考える。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「ボランティア」及び「ボランティア活動」の基本を学ぶ。 ②地域社会における「ボランティア活動」の意義を理解する。 ③「ボランティア活動」を「支援」することの実際を知る。 ④「ボランティア活動」を自身の身近な問題として考える。 ⑤人間のもつ多様な「価値観」や「主体性」の意味を理解する。
実践英語A 町田 佳世子 松井 美穂	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 英語I、英語II（各A、B、C）で学んだことを基礎に、デザイン・看護の各専門に関する英語図書の講読を通じ専門英語に慣れるとともに、専門分野に関する語彙を習得することを目指す。また、1年次に習得したパラグラフ・ライティング/エッセイ・ライティングの書き方を基礎に、さらにそれを発展させて専門分野に関連したエッセイ・ライティングの練習も行う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①専門英語に関する語彙を習得する。 ②英文で書かれた専門分野に関する論文を読むための力を身につける。 ③専門分野に関する論文を英語で書くための基礎力を身につける。
実践英語B ★マツダヴァ セザインジ ★山田 バトリシア	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 英語I、英語II（各A、B、C）で学んだことを基礎に、将来学術分野や実社会において、専門分野に関することから英語で聞き取り、議論できるように、さらに英語力を発展させる。授業ではそれぞれの専門分野に関する内容を口頭で発信する練習を行いながら、専門用語も習得する。授業はそれぞれの学部に分かれて行われる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>専門に関する事柄を英語でプレゼンテーションでき、また、会議などにおいて英語でディスカッションなどができるレベルの語学力の習得を目指す。</p>
中国語 ★照井 はるみ	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 中国語入門の基礎として、文字・発音・文法を学習し基本的日常会話を習得するとともに、中国の歴史・文化などについても触れ、中国に対する理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中国語で自己紹介ができる。 ②基本的な日常会話ができる。 ③学んだ中国語の特徴を理解している。
ロシア語 ★ジダーノフ ウラジミール ★ジダーノフ ナターリア	演習 30時間	<p>【科目のねらい】 基礎である読む・書く・話す・理解する（ロシア語会話で最もよく使われる言葉）ことを学習する。</p> <p>ロシアのマナー用語（挨拶・自己紹介・電話での会話など）について学習する。また、ロシア文化についての説明もする。（ロシアのシンボル・主要都市・音楽・映画についてなど）</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①簡単な文章、例えば会話帳などを読むことができる。 ②ロシア語でのメールや絵葉書が書けるようになる。 ③ロシア語での簡単な会話（天気、家族、食事など）ができる。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	科目のねらい・到達目標
グループ・ダイナミクス ★鹿内 啓子	演習 30時間	<p>【科目のねらい】人は家族、学校、職場等さまざまなグループの中で、お互いに影響を与え合い、行動を変化させながら生活しており、そこにおいてはグループ・ダイナミクス（集団力学）が作用している。この授業では、人がどのように他者から影響されるのかを身の回りの事例から学び、集団における人間の心理や行動についての基礎的な理解を深める。また、このような影響力の要因から集団が持つ機能や意思決定の仕組みなどについて学んでいく。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 知らず知らずのうちに私たちに影響を与えている基本的な社会的要因を知る。 ② 自分や他者の行動を客観的に見直し、影響力の武器が使われている事例を考える。 ③ 不当な影響力に冷静に対処する方法を知る。
環境を考える 矢部 和夫	講義 30時間	<p>【科目のねらい】現代の環境問題は加害者と被害者の対立構造が不明快となり、全員が加害者であり被害者となっている。また、環境問題は地域の問題から、地球全体の問題へと変質した。環境問題は自然科学でそのプロセスやメカニズムを扱う問題であると同時に、社会構造とそのシステムの問題でもある。この授業はさまざまな環境問題の科学として物理・化学的なメカニズムを解説し、その対策と提言に対する正確な基礎知識を提示するが、同時に都市とそこで生活する人間と社会のかかわりも、この問題の解決策を考える上で重要な側面であるという認識に立って授業を進める。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 環境問題の原因と発生のメカニズムを把握し、問題を正確に捉える。 ② 環境問題に対する社会生活上の取り組みを考究する。
教育を考える ★竹中 健	講義 30時間	<p>【科目のねらい】家庭教育、学校教育、生涯教育などの教育は、人間や人間形成にとってなぜ必要なものとして位置づけられてきたのか？人びとがこれまで「教育」に求めてきた意味づけについて、歴史的変遷から考察を行う。また、教育問題や教育が抱える課題といった日本の教育の現状について知る。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 近代における「教育」は、どのような概念として位置づけられてきたかを理解する。 ② 「教育」という用語によって示される「理念」と「現実」とを切り離し、概念の操作ができる。 ③ 「教育」の意味を、社会にとっての意味と、個人にとっての意味とに切り離して理解する。
韓国語 ★松田 由紀	演習 30時間	<p>【科目のねらい】ハングルを読み、書き、簡単なあいさつや自己紹介ができるようになること。授業を通して韓国の文化や韓国人の考え方に触れること。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 韓国語の簡単な文章や単語が書ける。 ② 韓国語の簡単な文章や単語が読める。 ③ 韓国語で自己紹介や簡単な会話ができる。

I
概要II
教育活動III
研究活動IV
社会活動V
キャリア支援活動VI
入学
者選
抜結
果VII
附
属
図
書
館VIII
及
び
教
育
研
究
審
議
会IX
学
内
運
営
の
概
要X
資
料